

平成23年救急概要

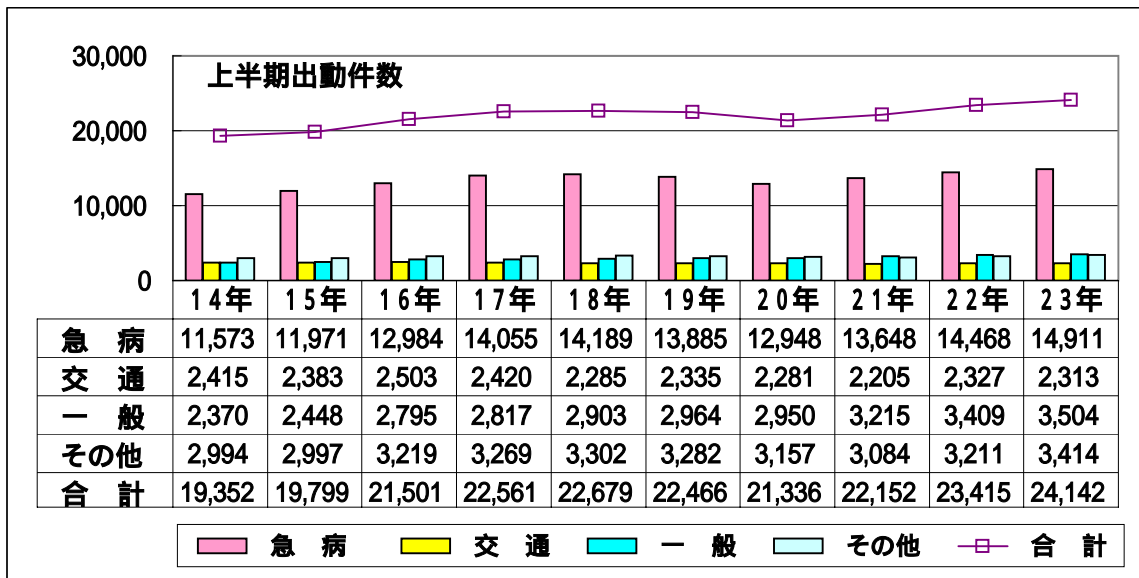
平成23年中における救急出動件数は24,142件で、前年比727件(3.1%)の増加となっている。搬送人員は20,594人で、前年比448人(2.2%)の増加となり、1日平均66件(前年64件)、約22分に1回の割合で救急隊が出動したことになる。

なお、上半期の件数は11,881件で、前年比753件(6.8%)の増加であり、出動件数、搬送人員ともに増加し、救急業務開始以来の最多件数となった。

過去10年間の上半期救急出動件数の推移

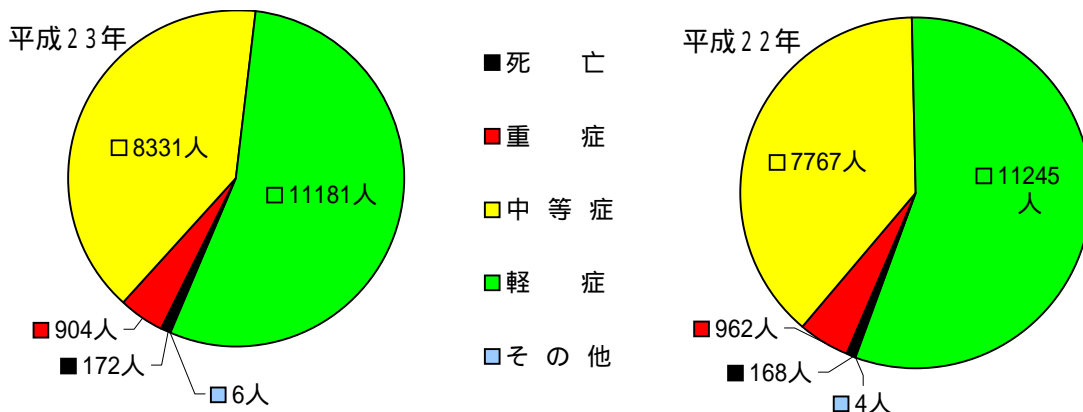
過去10年間の救急出動件数をみると、平成16年に2万件を超え平成22年は大幅に増加し、過去最多の出動件数となった。

平成23年4月1日より救急隊が1隊増隊され、現在は8隊の救急隊で傷病者の搬送を行っています。



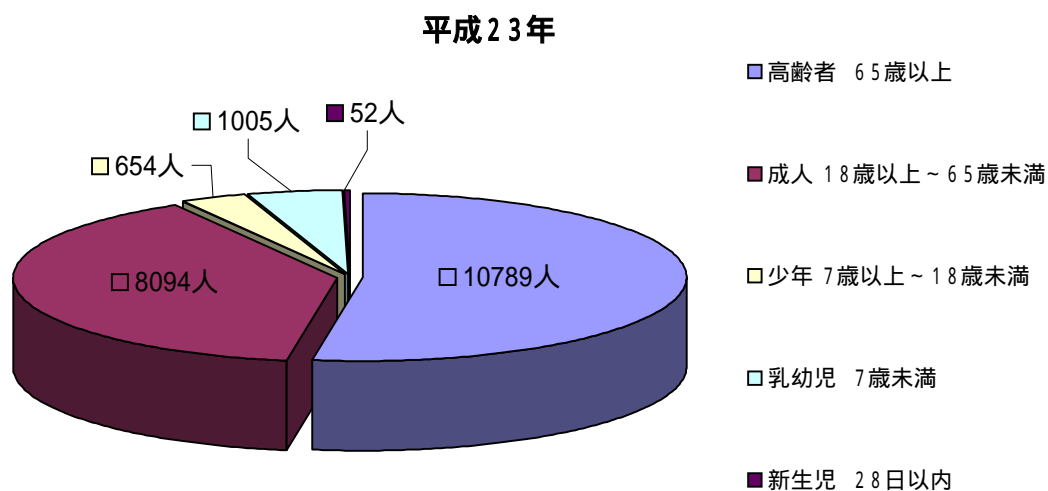
程度別

程度別をみると、軽症11,181人(前年11,245人)で64人(0.6%)の減少、中等症8,331人(前年7,767人)で564人(7.3%)の増加、重症904人(前年962人)で58人(6.0%)の減少、死亡172人(前年168人)で4人(2.4%)の増加となっています。



年齢別

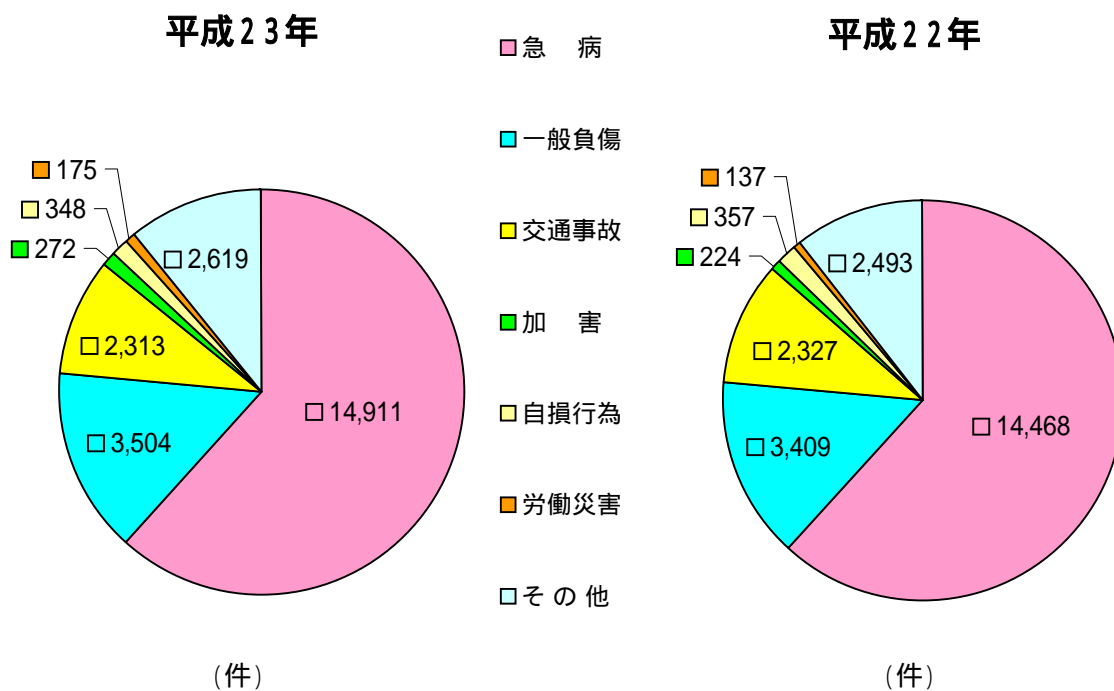
年齢区分別にみると、高齢者が10,789人で最も多く、次いで成人の8,094人です。



事故別

事故別にみると、急病が最も多く全体の61.8%で、以下、一般負傷、交通事故の順になっています。

2年間の事故別を比較すると、交通事故と自損行為を除き全て増加しています。



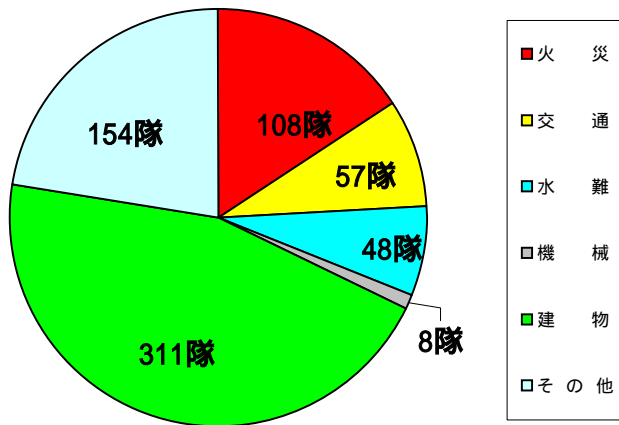
平成23年救助概要

本市の救助体制は、高度救助隊1隊、特別救助隊1隊、署救助隊2隊、水難救助隊1隊で、計5隊の救助隊を配置しています。

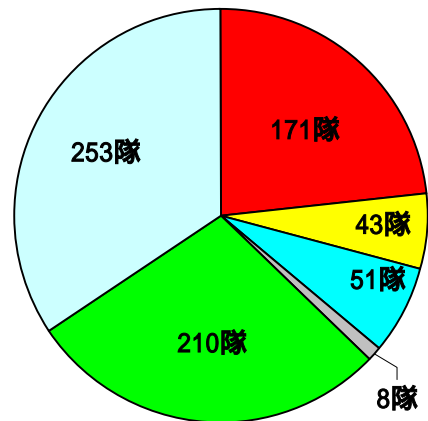
救助工作車は2台を有し、市域の南部に1台、北部に1台を配置し、あらゆる災害における救助体制の拡充、強化を図っています。

平成23年の災害出動は延べ686隊(前年736隊)で、建物出動が最も多くなっています。

平成23年救助出動区分



平成22年救助出動区分



高規格救急車



救助工作車